

旭川市内で回収された死亡野鳥（オジロワシ）の
A型鳥インフルエンザ遺伝子検査陽性について

令和3年1月30日、国立環境研究所による遺伝子検査で、令和3年1月27日に旭川市内で回収されたオジロワシ1羽から鳥インフルエンザウイルスが「陽性」であることが確認されました。

この検体は、今後、北海道大学において高病原性インフルエンザウイルスの確定検査を実施し、毒性の強い高病原性のものかどうかを確認することとなります。

結果は1週間ほどで判明するとのことですが、環境省と北海道では、発見地点から半径10km圏内の監視体制を強化するとのことですので、本市もこれに連携協力するとともに事態の推移を注視してまいります。

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられていますが、次の点に御注意下さい。

【 注意事項 】

- 死んでいたり、衰弱していたりする野鳥を見つけた場合は、素手で触らないでください。
- 鳥の排泄物等に触れた場合は、手洗いとうがいをしてください。
- 水辺等に立ち寄って、糞を踏んだ場合は、念のために靴底を洗ってください。

【 お願い 】

- 死んでいる又は衰弱している野鳥を見つけたら、速やかに上川総合振興局環境生活課（46-5924）まで御連絡ください。

鳥インフルエンザについて不明な点がございましたら、次の窓口に御相談ください。

野鳥について	北海道上川総合振興局環境生活課	46-5924
	旭川市環境部環境総務課環境保全係	25-5350
家畜として飼育されて いる鶏などについて	上川家畜保健衛生所	57-2232
	旭川市農政部農業振興課農畜産係	25-7470
人の健康について	北海道上川総合振興局保健環境部健康推進課	46-5989
	旭川市保健所健康推進課保健予防係	25-9848